

# 読書会の 進め方

須藤功平

株式会社クリアコード

Groongaドキュメント読書会1  
2014/05/15





# はじめに

- 今回が1回目
  - 正解を知らない・手探り
- 今回の位置づけ
  - うまくいきそうなやり方を試す
  - 試したやり方を評価する
  - 評価を元に今後のことを考える



# タイムテーブル

- 20:00-20:30: 進め方説明
- 20:30-21:30: 読む
- 21:30-22:00: ふりかえり



# 進め方説明

- 目的・実現方法の確認
- 読み方の説明
- ふりかえり方法の説明



# 目的

参加者が  
Groongaの理解を  
深めること



# 実現方法

- 公式ドキュメントを順に読む
  - 参加者：理解できない→随時質問
  - 開発者：解説
- 理解した内容を自分の言葉でまとめる
  - 「ようは〇〇ということだね。」



# どうしてまとめるか1

理解しているか  
どうかかわかる



# 理解している

- うまく説明できる
- 自分の言葉に言い換えられる





# 理解していない

- 説明に詰まる
- にごしてしまおう



私、理解していない！

理解していない



質問・解説



理解



# どうしてまとめるか2

正しく理解して  
いるかわかる



# 間違って理解している

- 他人の理解と比べると気づける
  - Aさん: 「私は〇〇と理解」
  - Bさん: 「私は××と理解」
  - ↑どちらかの理解が間違っている
  - どちらも正しく、単に表現が違うだけのこともある



私、間違っていた！

間違っていた



訂正



正しい理解



# 実現方法

- 公式ドキュメントを順に読む
  - 参加者：理解できない→随時質問
  - 開発者：解説
- 理解した内容を自分の言葉でまとめる
  - 「ようは〇〇ということ」

自己紹介  
タイム！

# この進め方で重要なこと

理解できない



随時質問





# 「随時質問」しやすく

発言する敷居を下げるのはどうか  
(仮説)

- 一度発言しておく  
→ 自己紹介
- 「一度発言すること」が目的  
→ 簡単でよい



# 自己紹介

- 名前
- どうして参加しようと思ったか



# 読み方の説明

- 目的・実現方法の確認
- **読み方の説明**
- ふりかえり方法の説明



# 読み方

- 輪読会式：一区切りずつ読む
- 研究会式：誰かが講義
- 発表会式：参加者が各自発表

参考：<http://ja.wikipedia.org/wiki/読書会>



# 輪読会式を試す

- **輪読会式**：一区切りずつ読む
- **研究会式**：誰かが講義
- **発表会式**：参加者が各自発表

参考：<http://ja.wikipedia.org/wiki/読書会>



# なぜ輪読会式か

- 事前準備がいらなそう
  - → 負担が少なそう
- 参加者が発言する機会が増える
  - → 質問しやすくなりそう



# 進め方

- 誰かが一区切り読む
- 理解できたか確認する
  - できていなければ質問・解説
- 理解できた内容をまとめる
- これをくりかえす



# やってみよう！

# 1. Groongaの特徴

<http://groonga.org/ja/docs/characteristic.html>





# まとめる場所

誰でも読める場所ならどこでもOK

- 自分のブログ
- Qiita
- GitHub Pages
- ...

# なぜ誰でも読める場所か

- 他の人が確認できる
  - 理解が間違っているか確認できる
  - (参加者がうれしいこと)
- あわよくば…
  - 参加していない人にも有益な情報を提供したい
  - (Groongaユーザーがうれしいこと)



# エピソード

- 2014/4/29 Groonga Meetup
  - 初心者向けイベント
- 酒井さんも参加
  - 手を動かす→確認事項をQiitaへ
  - 酒井さんが理解したことがわかる！
  - 参加していない人にも有益な情報！



# もっとあわよくば…

- 公式ドキュメントを改善したい
  - Groongaユーザーがうれしい！
- わかりにくい記述
  - → 改良
- 未ドキュメントの内容
  - → 追記



# ふりかえり方法の説明

- 目的・実現方法の確認
- 読み方の説明
- **ふりかえり方法の説明**



# ふりかえること

- 目的は達成できたか
  - 目的：参加者が理解を深める
- 会場について
  - インターネットがない会場でも開催できるか
- 進め方について
  - 改良案は？問題点は？



# ふりかえり結果：目的

- 大半の参加者は達成できた
- まだ触ったことがない人はそれほど理解が深まらなかった
  - 内容が概要だったため
  - 実際に動かす箇所までいくと深まりそう



# ふりかえり結果：会場

- 会場インターネットはなくても問題ない
  - ほぼモバイルWiFiルーター持参
  - 持っていない人は持っている人に相乗りでカバーできる
- インストールするなどダウンロードするときは問題があるかもしれない



# ふりかえり結果：進め方

- 輪読会式はよさそう
- 質問しにくいことがあった
  - どこまで脱線してもよいかで悩む
  - 今回の内容は概要だったので  
今回を基準に判断するのは難しそう
- 人数は10人くらいまでが  
ちょうどよさそう



# 雑感

- 実験的なことばかりだったが  
うまくいったのではないか
- 今回だけで進め方の良し悪しを  
判断するのは難しそう
- 疲れたけど楽しかった  
(楽しいかどうかは継続する上で重要な要素)



# 今後の開催

- 次回開催するなら参加するか？
  - 参加したい人は  
今回の理解した内容を  
自分なりにまとめて公開して欲しい
- 公開する人が多ければ  
前向きに検討